

日時・場所	令和6年6月24日（月）9時00分～ 庁議室
出席者	栢木市長、佐野副市長、北脇教育長、北脇議会事務局長、布施政策調整部長、川尻総務部長、中塚市民部長、井出健康福祉部長、井狩健康福祉部政策監、駒井健康福祉部政策監、岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、田中教育委員会部長、事務局

1. 開会

【市長挨拶】

先週は全国滋賀県人会連合会の講演会、懇親会があった。講演内容は大河ドラマに関する事で、講師を務めた文学者の方とお話した際、平家終焉の地が本市にあることを伝えたところ、大変驚かれていた。平宗盛公の840年忌も執り行われたところであり、本市の観光資源のひとつとしてPRできるのではと感じた。

ラグビーのリハーサル大会が希望が丘文化公園で開催された。国スポ・障スポに関連した大会では市内では初めての開催で、女子の部では滋賀県が3位に入賞し、大雨だったが迫力のある試合だった。今後、卓球やバスケットボール(女子の部)も予定されており、本番に向けて着実に進んでいることを実感した。

防災に関する講演を聞いた後、わんにゃんマルシェに参加した。災害時のペット同伴での避難はあまり想定されていないが、そのような視点を持つことも大切と感じた。

普段、市民や関連団体から伺った話を部長の皆さんと共有することは非常に大切だと思っている。今後も随時お伝えしていく。

2. 議題

【報告事項】

①令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実績・効果検証の結果公表について

令和5年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業が完了したことから、実績と効果検証の結果を市ホームページで公表するので、概要を報告する。

→特に意見・議論等はなかった。

②令和5年度各会計決算の状況について

令和5年度各会計決算の状況について報告する。

(指示)

病院事業会計の決算で、経常損益が、令和5年度初めて赤字となっていることについて、その要因を明確にし、今後の見通しを含め分析しておくこと。

③熱中症特別警戒情報の周知について

熱中症の危険性が高まっており、今般、気候変動適応法の一部改正があり、「熱中症特別警戒情報」が創設され、発令時には市町村に市民等に情報伝達を行うことが義務付けられたことから、その対応について報告する。また、当制度の施行に伴い、各コミセン及び健康福祉センターを暑熱避難施設として開設する。

(意見)

- ・本件については環境省所管のため、本市においては現時点では環境課が所管し、関係課と連携しながら進められているが、県からは健康医療福祉部の健康しが推進課から市へ伝達される形となっている。実際的には、リスクの高い高齢者層に向けて、自室のエアコン作動の声掛けや見守り、啓発を進めていくことが有用な対策であると考え。このことから、中心となるべき部局など全庁的な体制の見直しについて、今後検討していく必要があるのではないか。
- ・コミュニティーバスしか移動手段がない高齢者にとっては、自治会館の開放や自治会を通しての啓発も有効ではないか。

④全員協議会への提出事項について

→特に意見・議論等はなかった。

3. 次回部長会議の予定

7月1日(月)9:00～ 庁議室

※案件がある場合は6/28(金)正午までに所定のフォルダへデータの提出をお願いします。

4. 閉会